

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員（チリ観測所、先端技術センター）

1. 助教 1名
2. (1) 国立天文台先端技術センター
(2) 東京都三鷹市
3. 装置開発を主とする電波天文学
4. 国立天文台は日米欧の共同でALMA電波望遠鏡の観測運用を開始した。このALMAの最高周波数バンドであるバンド10受信機については、国立天文台のチリ観測所と先端技術センターが担当して開発中であるが、このバンド10受信機カートリッジの開発を主導することが職務である。また、将来的には次世代の電波天文学用受信機（テラヘルツ波受信機やマルチビーム受信機など）の開発を進めることが期待される。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書
(2) 研究歴（個人としての研究業績の他に、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください）
(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）
(4) 研究計画書（電波天文学のための装置開発についての抱負も記入してください）
(5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名

と連絡先

- (6) 他薦の場合は推薦書のほかに、(1)～(4)の概要が分かる書類

8. 2012年5月18日（金）17時必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 林 正彦
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
E-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「チリ観測所・先端技術センター助教応募書類」と朱記し、簡易書留で郵送送付すること。直接持参も受け付けます。電子メールでの応募は受け付けません。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは
<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>
をご覧ください。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 助教1名
2. (1) 大学院理学系研究科天文学専攻（天文宇宙物理学講座）
(2) 東京都文京区本郷7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻（天文宇宙物理学講座）には現在、観測的宇宙論、超新星、太陽恒星物理、星間物理の研究グループ（理論および観測）があります（詳しくは、<http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp>をご覧ください）。これらのグループ、および理学系研究科附属天文学教育研究センターのグループとも協調しながら、大学院および学部教育に熱意をもって取り組み、観測・理論の双方を視野に入れて、世界第一線の研究をリードできる方を求めます。
5. 採用決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方

7. (1) 略歴書 (写真貼付), (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト, (4) 主要論文印刷 (3編以内), (5) 着任後の研究計画と抱負, (6) 推薦状2通
8. 2012年5月31日 (木) 必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻
専攻長 柴橋博資
(2) 同上
Tel: 03-5841-4256
Fax: 03-5841-7644
E-mail: shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒の表に「人事応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送してください。
本研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記URLの理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 特任教員・研究員

- 1名: 特任助教, もしくは研究員
- (1) 素粒子宇宙物理学専攻 天体物理学研究室 (A研)
(2) 名古屋市千種区不老町
- 天文学
- 電波天文学の研究
南米チリ等で進めている観測研究・開発に専念し、学術的成果をあげていただける方を求めます。また、特任助教の場合、大学院および学部教育も担当していただきます。
- (1) 決定後できるだけ早い時期
(2) 2017年3月まで
- 着任時に博士号を有しているか、または取得確実なこと
- 履歴書 ○研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む) ○研究計画 ○業績リスト (査読論文とそれ以外を区別し、共著の主論文には役割分担を記すこと。) ○本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
- 2012年5月7日 (月) 必着
- (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科
天体物理学研究室 福井康雄 宛
(2) 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理

学専攻 福井康雄

Tel: 052-789-2837

E-mail: fukui@a.phys.nagoya-u.ac.jp

10. (1) 封筒に「電波天文学特任助教人事応募書類在中」、または「電波天文学研究員人事応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送りください。(2) 応募書類は、特に申し出がない限り返却しません。(3) 書類選考の後、場合によっては面接を行います。
11. (1) 待遇 特任助教 月額約40万円 (年俸制)
研究員 月額約30万円
(2) 本学の特任助教, もしくは研究員の公募に関連して提出されたすべての個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、すべての個人情報を責任を持って破棄いたします。また、本学では男女共同参画を積極的に推進しており、当物理教室の教員人事では、評価が同等なら女性を積極的に採用する場合があります。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

立教大学理学部物理学科教員

1. 2011年7月 (第104巻第7号)
2. 小林 努 (京都大学次世代研究者育成センター 特定助教)
3. 2012年4月

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教員

1. 2011年10月 (第104巻第10号)
2. 吉田直紀 (東大数物連携機構)
3. 2012年4月1日

北海道大学大学院理学研究院物理学部門准教授 (宇宙物理学電波観測分野)

1. 2011年12月 (第104巻第12号)
2. 徂徠和夫 (北海道大学大学院理学研究院助教)
3. 2012年4月

研究助成

平成 24 年度 (第 53 回) 東レ科学技術賞・研究助成の候補者推薦のお願い

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせいたします。

I. 東レ科学技術賞 (概要)

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著な方
 - (2) 学術上重要な発見をした方
 - (3) 効果が大きい重要な発明をした方
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方
2. 科学技術賞……2件前。1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円。
3. 候補者推薦件数……天文学会から2件以内

II. 東レ科学技術研究助成 (概要)

1. 候補者の対象……天文学に関する分野で、国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的基礎研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者 (原則として推薦時45歳以下)
2. 研究助成……総額1億3千万円、1件3千万円程度まで計10件程度
3. 候補者推薦件数……日本天文学会から2件以内

※ I, II とも締切期日は平成24年9月10日 (月)

日本天文学会必着

※ 推薦書用紙は日本天文学会事務所まで。

※ 各推薦書用紙は、ホームページからもダウンロードできます (平成24年6月中頃から可)。

URL: <http://www.toray.co.jp/tsf/index.htm>

公益財団法人 宇宙科学振興会助成事業 2 件公募のご案内

旧財団法人宇宙科学振興会は2102年4月1日より公益財団法人宇宙科学振興会に移行いたしました。当財団は移行後2012年度以降も、宇宙科学分野における学術振興を目指し、引き続き下記の二つの助成事業を継続します。それぞれの応募要項の詳細はホームページ: <http://www.spss.or.jp> にごございます。それぞれの公募に対してはホームページご参照のうえ、申請書を

ダウンロード・作成いただき必要な書類を添付のうえ、電子メールにて財団 (admin@spss.or.jp) 宛申請いただけます。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

(1) 国際学会出席旅費の支援

● 支援対象

宇宙理学 (地上観測を除く) および宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者 (当該年度4月2日で35歳以下)、またはシニアの研究者 (当該年度4月2日で63歳以上でかつ定年退職した者) で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

● 助成金額・件数: 1件当たり10~25万円程度、年間10~15件程度

● 申し込み受付時期

応募締切り 2012年5月15日: 2012年7月1日~2012年10月末の間の発発者対象

応募締切り 2012年9月15日: 2012年11月1日~2013年2月末の間の発発者対象

応募締切り 2013年1月15日: 2013年3月1日~2013年6月末の間の発発者対象

(2) 国際学会開催の支援

● 助成対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体 (研究所、大学等) で、宇宙理学 (地上観測を除く) および宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

● 助成金額・件数: 1件当たり30~50万円程度、年間5~6件程度

● 申し込み受付時期

応募締切り 2012年7月15日: 2012年10月~2013年3月に開催の国際学会対象

応募締切り 2013年1月15日: 2013年4月~2013年9月に開催の国際学会対象

● 照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局

<http://www.spss.or.jp>

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

Tel: 042-751-1126

E-mail: admin@spss.or.jp

研究会・集案案内

第11回「君が作る宇宙ミッション」参加者募集

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) では、高校生 (および相当年齢の方) を対象とした体験学習プログラム「君が作る宇宙ミッション」の参加者を募集します。このプログラムは4泊5日の合宿形式で、JAXA 相模原キャンパスに滞在しながら、数人のチームを組み、自分たちのミッション計画を立案するものです。参加者は自分たちの作りたいミッションを議論して決定し、その目的を達成する方法について研究・調査・解析を行います。最後には、最前線で働く研究者の前で研究成果の発表を行います。期間中は、実際に JAXA 相模原キャンパスで研究活動に従事している若手研究者がアドバイスし、議論の相手になります。彼らと一緒に研究活動を行うことで、研究者の日常や研究の進め方を学ぶことができ、宇宙科学の最前線を体験することができます。宇宙科学に興味を持つみなさんの参加をお待ちしております。

主催: JAXA 宇宙教育センター・宇宙科学研究所

期間: 2012年8月6日 (月) ~8月10日 (金)

会場: JAXA 相模原キャンパス (神奈川県相模原市)

対象: 高校生, あるいは相当年齢の方 (高専は3年次まで)

定員: 20名程度

参加費用: 会場までの交通費, 5日間の食事代 (8,000円程度)

※宿泊費は相模原キャンパス内の宿泊施設を利用する際は無料ですが、やむを得ない理由で利用できない場合は宿泊費が必要となります

※遠方にお住まいの方で往復交通費が25,000円を超える場合は、JAXA の認めた範囲での旅費補助があります

※国内旅行傷害保険は JAXA が負担します

応募方法: 以下の二つの申込用紙を「君が作る宇宙ミッション」のホームページからダウン

ロードし、6月4日 (月) 必着で郵送してください (郵送以外は受け付けません)

1. 申込用紙A: 次の9項目を明記してください
①氏名, ②生年月日, ③性別, ④住所, ⑤電話番号, ⑥学校名, ⑦学年, ⑧メールアドレス, ⑨「君が作る宇宙ミッション」を知ったきっかけ

・お送りいただいた個人情報は、本プログラムの運営のみに利用します

2. 申込用紙B: 次の2項目を自由に記述してください

①50-100年後、宇宙利用や宇宙科学が進歩したらどんな世界になると思いますか?

②どのように進歩したらその世界を実現できると思いますか?

・あなたの考えの新しいところや、その流れが分かるように書いてください

・図やグラフ、参考にしたものがあれば載せてください

※応募者多数の場合は申込用紙Bの内容による選考を行います。(選考の際はやる気・発想力を重視します)

※期間中に取り組むミッションは各チームで議論のうえ、決定します。

ホームページ URL: <http://www.isas.jaxa.jp/kimission/>

郵送先: 〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1
宇宙航空研究開発機構 宇宙教育センター
「君が作る宇宙ミッション」事務局

締切日: 6月4日 (月) 必着

応募結果: 6月下旬までに本人宛に郵送

問合せ先: 「君が作る宇宙ミッション」事務局

Tel: 050-3362-4662

平日9:30-17:30, 土日祝日を除く

Fax: 042-759-8612

E-mail: kimission@jaxa.jp

※状況により、日程、定員、参加費用などに変更の可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

国立天文台野辺山宇宙電波観測所「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45 m電波望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います（総合研究大学院大学「夏の体験入学」）。当観測所は、45 m望遠鏡、10 mサブミリ波望遠鏡（南米チリ）を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果をあげています。この「電波天文観測実習」は、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45 m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのがねらいです。参加者には普段研究者が行っている45 m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をお持ちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2012年7月30日（月）13時30分
～8月3日（金）11時30分（4泊5日）
2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所
（JR小海線野辺山駅から徒歩40分）
3. 定員：8名程度
4. 対象：大学の理科系学部（教育学部の理科系も含む）に属する学生（1～4年生）
5. 費用：旅費・滞在費がサポートされる可能性があります
6. 応募方法：住所、氏名、所属大学、および学部・学科、学年、年齢、性別、電話番号、E-mailアドレス（持っている場合）を明記の上、以下の(1)～(4)に回答し、6月25日（月）必着で下記の応募先まで送付してください。なお、送付された資料は返送いたしません。
 - (1) 大学で物理実験の経験がありますか？
 - (2) (1)で「はい」と回答された場合、一番印象に残った実験は何ですか？ どのよう点で印象に残ったのですか？
 - (3) あなたが持っている天文学への想い・イメージについて何でも結構ですでお書きください。（600字以内）
 - (4) 実習に参加希望の理由は何ですか？（600字以内）
7. 選考結果：7月2日頃、郵便で発送 ※6の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと
8. 応募先・お問い合わせ先
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2
国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」
※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書してください
TEL: 0267-98-4332
ウェブサイト <http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol98**（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成（編集長）、市来浄興、勝川行雄、鈴木 建、徂徠和夫、竹井 洋、野田寛大、浜名 崇、廣田朋也、前野将太、山崎 了

平成24年4月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2012年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）